

ウトナイ湖通信



No.267

2026 年8月号



夏真っ盛りのウトナイ湖は、彩り豊かな花が咲き、昆虫の活動がせわしなくなる時期です。タコさんウィンナーにも見えるオニユリをはじめ、森を彩る花やそこに集まる昆虫にも注目して観察を楽しみましょう。

ウトナイ湖は、周囲約 9km、面積約 275ha、平均水深約 0.6m の淡水湖です。鳥類はこれまでに約 270 種が確認され、ガン・カモ・ハクチョウなどの渡り鳥にとって重要な中継地、越冬地となっています。

8月

イベント情報



お気軽ガイドウォーク in ウトナイ湖

8月9日(日) 10:30~11:30

レンジャーや当センターのボランティアが40分程、屋外でウトナイ湖の自然を案内します。

※荒天時は館内ガイドウォークに変更します。

- 定員：10 名程度
- 対象：どなたでも(小学生以下は保護者同伴)
- 申込：不要。直接当センターへ

第3回 野生動物に学ぶ救護セミナー

「アオバトの謎は海水を飲むことだけじゃない!?
あまり知られていなかったアオバトの子育ての様子を紹介します」

8月 29 日(土) 10:00~12:00

人と野生動物との共生・共存を考えるセミナーです。
今回のテーマは、アオバトです。

- 定員：先着 30 名
- 対象：どなたでも(小学生以下は保護者同伴)
- 申込：事前申込制 8/1(土)~8/28(金) 9:00~17:00
電話または直接当センター窓口へ



市民ギャラリー

令和8年度 北海道野鳥絵画展

展示期間：2026 年8月6日(木)~9月6日(日)

内 容：道内の児童や生徒の皆さんが描いた素敵な野鳥の絵画が並びます



◆ウトナイ湖野生鳥獣保護センター◆ TEL.0144-58-2231

〒059-1365 苫小牧市字植苗 156-26 / 道の駅となり

開館時間：午前 9 時~午後 5 時 / 入館無料

休館日：毎週月曜日(祝日の場合は翌日)及び年末年始

ラムートくん



ウトナイ湖野生鳥獣保護センター 検索

~ ウトナイ湖 ~

・国指定鳥獣保護区特別保護地区
・ラムサール条約湿地
・東アジア・オーストラリア地域
・フライング・パートナーシップ

傷病鳥獣ルームから

当センターでは、国指定ウトナイ湖鳥獣保護区とその周辺(苫小牧市行政区域内)において人為的な原因で保護された傷病鳥獣の救護・リハビリを行っています。その活動の一端をご紹介します。



ハイタカ

体重 220 g



安静時の様子

上腕骨骨折



レントゲン写真

原因：建物への衝突

5月4日 市内の住宅で、ゴンと衝突音を聞いた住民が庭を見たところ、本個体を発見し、同日中に保護センターへ搬送。

初診にて、右翼に外傷を確認。レントゲン検査で右上腕骨の骨折を認めた。

外傷部位の処置を施し、経過観察。強制給餌を行いながら、体重・体調管理を行うも、

5月12日 5月11日容体急変し、翌日死亡に至る。

死 亡

ハイタカ (タカ目 タカ科)

オスの全長は32cm。ハト程度の大きさで、タカ類では小型です。メスはオスよりも一回り大きく全長は39cm。虹彩は雌雄共に黄色く、オレンジ色みを帯びるものもいます。

一年を通じ観察することができますが、秋には多くが南方へ移動します。冬季は人家の餌台で小鳥を狙うこともあります。

トピックス



ボランティア体験講座

自然情報収集調査体験

当センターのボランティア活動を体験いただく本講座。今回はレンジャーや登録ボランティアと一緒に観察路で生きものを探し、地図に記録していただきました。参加いただくとボランティア登録いただける本講座は、次回は11月開催です。



野生動物に学ぶ救護セミナー

注意すべき身近な有毒植物

北海道立衛生研究所の高橋正幸氏を講師にお迎えし、山菜と間違えやすい有毒植物や、キノコについて、見分け方や食中毒の事例など、豊富な資料をもとに解説いただきました。40名の参加となり、関心の高さが伺えました。



ボランティアコーナー

6/28に開催した「ボランティア体験講座」に参加された たなか さんにインタビューしました。

「ボランティア体験講座」のボランティアをしようと思った理由はなんですか？

1年前にボランティア体験講座に参加しました。私自身、大自然の中で育ち、動物や自然が大好きで大切だと感じていることもあり、体験者の方々にも何か感じて欲しいと思い参加しました。

活動してみた感想を教えてください。

観察路を一緒に歩いている時に、参加者の方がいち早く生き物を見つけて教えてくれたり、質問してくれたり、そのように自然に興味を示してくれた事が嬉しかったです。

印象に残ったことがあれば教えてください。

木々の葉が茂り野鳥の声は聞こえるけれど、姿がなかなか確認できませんでしたが、最後のほうでアオジを見ることができました。やはりこの時期の森林で野鳥を見つけるのは大変なことなのだと印象に残りました。今後はもう少し知識をつけて、参加者の方々に説明出来るようになりたいです。



参加者と一緒に野鳥を観察する
たなか さん

ウトナイ湖 お楽しみコーナー

【ウトナイ湖・めりえ】

* アオジ (オス) *

ウトナイ湖では、春から夏にかけて、アオジの「チョッピン チーチュルリ」というさえずりを聞くことができます。

アオジのオスは、くちばしから目にかけて黒いのが特徴です。写真を見ながらぬってみましょう♪



公式 SNS には、ほかにもたくさん情報を載せています！



Instagram



Facebook



X



レンジャーのおすすめ自然情報



【カイツブリ】

ウトナイ湖では主に夏に見られる、日本最小のカイツブリ。「キリリリリ……」と大きな声で鳴く。館内の望遠鏡で探してみよう。



【ノコギリソウ】

名前の由来となるギザギザの細い葉がとても特徴的。花はピンク色のものや白色のものがある。木道沿いに見られる。



【カラコギカエデの実】

水辺を好むカエデの仲間。プロペラのような翼（よく）があり、付け根に種がある。歩道・木道沿いで見られる。



【エゾミソハギ】

湿地を好む植物。濃いピンク色の花がよく目立つ。マガンのテラス付近の木道沿いで見られる。

そろそろ野鳥たちの子育ても一段落し、にぎやかだったさえずりも徐々に落ち着き、声を楽しむ機会は減ってきたようです。

その一方で、白や黄、赤、ピンクなど、色とりどりの花や実が観察路を彩り、そこへ昆虫や野鳥がやってきます。木の实のあるところにメジロなどの野鳥が来ることもありますので、ぜひウトナイ湖へ来て、観察してみてください。



ウトナイ湖で自然観察を楽しもう♪

最新自然情報や、自然観察路マップはこちらから



Instagram



Facebook



X

自然観察路ガイドマップ【夏】

